

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	担当者
書道Ⅱ	2	2	選択	普通科	神谷 理恵子

1. 科目概要および目標

- ・書道における創造的な活動をとおして、書を愛好する心情を育てる。
- ・書を楽しむ態度をとおして感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深める。

2. 成績評価

- ・臨書において対象となる古典の特徴を表現できたか。また創作において意図した表現ができたか。
- ・仮名について基本的な用筆が習得できたか。
- ・執筆法の重要性を理解しながら、漢字仮名交じりの創作作品において、自分の意図した表現をすることができたか。

定期テスト等	15 %	その他態度等	15 %	授業・提出物	75 %
--------	------	--------	------	--------	------

3. 使用教科書・教材

教育出版 書道Ⅱ

4. 授業の展開と形態

単元の目標を把握させ、解説や指導を行い、練習から清書書きをする。

5. 学習方法

- ・実技・・・篆書・草書・楷書・行書・隸書・仮名・漢字仮名交じり・刻字・表札・色紙の練習、添削を行い作品内容の向上を図る。
- ・鑑賞・・・書道展入賞作品や名筆古典書をビデオで鑑賞し、本物の芸術を味わう。鑑賞する事は、自らも豊かになり、書写表現にもその豊かさが表れる。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

- ・教材（墨、紙〈半紙・半切〉、材木、色紙）は、学校で一括購入をする。その際、教材費は、新学期に納入させる。
- ・用具（硯、下敷き、文鎮、墨池、のみ、木槌）は、書道教室の物を使用させる。
- ・書道Ⅱを履修した後、3年時に選択することができる。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

- ・毛筆・硬筆書写検定（文部科学省認定）3級以上の合格を目指す。
- ・県内、県外の書道展出品・入選を目標とさせる。

年間授業計画

月	章	節	単 元	配時	マーク欄
			オリエンテーション	1	/
4月	＜第1章＞ 篆書 の 学 習 10	1. さまざまな篆書と篆書の特徴 (4)	1. 篆書の書体を知り、歴史的な位置づけを理解する。 2. 篆書の特徴を理解し、用筆・運筆を習得する。	2 2	/
5月		2. 金文の鑑賞と臨書、作品の創作 (6)	1. 金文の基本的な用筆・運筆を習う。 2. 学習した古典の表現を生かし、篆書の作品を創作する。	4 2	/
6月	＜第2章＞ 篆刻・刻字 の学 習 20	1. 篆刻と刻字 (20)	1. 書と篆刻・刻字 2. 刻る手順 (刀の入れ方から着色へ) 3. 刻字の用具・用材の使い方 4. 塗装から完成へ	2 10 2 6	/
7月	＜第3章＞ 隷書 4	1. 隷書の学習 (4)	1. さまざまな隷書 2. 乙瑛碑の鑑賞と臨書	2 2	/
			◎定期考査(期末)		
9月	＜第3章＞ 隷書 4	2. 隷書の学習 (4)	3. 漢代木簡の鑑賞と臨書 4. 隷書による創作と作品の鑑賞	2 2	
10月	＜第4章＞ 草書 と 行書 18	1. 草書の成立 (4)	1. 草書の成立と歴史的な位置 2. 書譜、十七帖の鑑賞と臨書	2 2	/
		2. 草書の特徴 (4)	1. 草書の名跡の鑑賞と臨書 2. 草書による表現の多様性	2 2	
11月		1. 様々な行書 (6)	1. 行書の書風を鑑賞する 2. 黄州寒食詩巻の鑑賞と臨書 3. 蜀素帖の鑑賞と臨書	2 2 2	/
		2. 重厚と軽快 (4)	1. 集王聖教序・祭姪稿・枯樹賦の臨書 2. 草書や行書の表現を生かし、題材を選んで創作を行う。	2 2	
12月	＜第5章＞ 楷書 6	1. 均斉と均衡 2. 頽直と重厚 (4)	1. 皇甫誕碑と薦季直表の鑑賞と臨書 2. 高貞碑と顔勤礼碑の鑑賞と臨書	2 2	/
		3. 温雅と雄健な小楷 (2)	1. 王羲之の楽毅論 2. 光明皇后の楽毅論	1 1	/
			◎定期考査(期末)		
1月	＜第6章＞ 仮名の書 と 生活の書 8	1. 仮名の書の特徴 (2)	1. 高野切第一種の臨書と短冊の書式 2. 三色紙の鑑賞と散らし書き 3.	1 1	/
2月		2. 小字と大字による表現 (2)	1. カルタを用いた創作 2. 懐紙、短冊を用いた創作 3. 半切の画仙紙の創作		
3月		3. 実生活での使用 (4)	4. 看板、原稿用紙、歌碑、絵はがき	8	/

()内は節時数

/単元終了時